

LMcorsa

60  **H.YOSHIMOTO**
 **S.KOHNO**

SUPER GT 2020 Race Report Rd.5 FUJI GT 300km RACE

10月3日 | 天候：曇 | コース：富士スピードウェイ | 路面：ドライ(路面温度30℃)

Qualifying day Summary

**今シーズン初の観客を迎えたSUPER GT第5戦で
LM corsaは予選Q1を河野駿佑選手が担当
クラス12番手となり、明日の決勝レースは24位から上位を目指す**

Qualifying day

年間8戦のシリーズで競われる「2020 AUTOBACS SUPER GT」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で変則的なスケジュールと使用サーキットが富士スピードウェイと鈴鹿サーキット、ツインリンクもてぎの3ヶ所と、こちらも特異な開催となった。シリーズ戦は、すでに前戦の鈴鹿サーキットラウンドで4戦を終了していて、今戦から後半戦へ入ることになる。



RC F GT3 で6年目のシーズンを戦っている

LMcorsa は、昨シーズンと使用するタイヤメーカーが変わったことによって苦戦を強いられている。前回の第4戦ツインリンクもてぎ大会は、決勝レースで追い上げてポイント獲得まであと一步の12位となったが、これが今期のベストリザルトという状況が試練のシーズンを物語っている。

シーズンが後半戦へと突入する第5戦「たかのこのホテル FUJI GT300km RACE」は、10月3日(土)に公式練習と予選、4日(日)に300kmの決勝レースが実施される。開幕戦から第4戦までは、すべて無観客での開催となったが、今戦からは入場者数や観戦エリアの制限などはあるが、有観客としてレースを実施することとなった。

また今戦から FIA F4 のサポートも併催されることとなり、徐々に本来の SUPER GT の様相を取り戻してきている。3日の公式プログラムは9時15分から11時5分までの1時間50分に亘って行なわれた公式練習からスタート。路面状況はドライで気温が22℃で路面温度が30℃と、この時期らしい気候となった。

Qualifying day

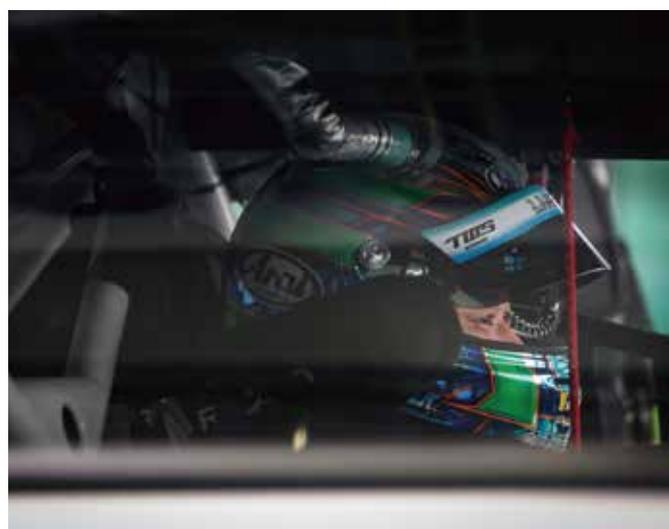
SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 には第 1 ドライバーの吉本大樹選手が乗り込んで、持ち込みの車両状態などを確認する。吉本選手はマシンの状況をチェックするとすぐにタイヤとのマッチングを判断し、路面コンディションと合わせたセットアップを進めていく。公式練習開始から 1 時間が経過する中で計 5 回のピットストップを繰り返して、最適なセットアップを探していった。



公式練習開始から 1 時間 10 分が経過したところで、第 2 ドライバーの河野駿佑選手が SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 のステアリングを握る。河野選手は、最後に実施された GT300 クラスの専有走行まで乗り続け、1 分 38 秒 694 のベストタイムをマーク。公式練習は 2 人のドライバーが計 39 周を走行し、河野選手がマークしたタイムがベストとなり、GT300 クラスの 29 台中 26 位の結果となった。

<予選>

公式練習終了から約 3 時間のインターバルを経て予選 Q1 がスタート。今戦も GT300 クラスは A 組と B 組の 2 グループに分けて予選 Q1 が開始された。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 は B 組に振り分けられていて、14 台中上位 8 台が予選 Q2 へ進出することになる。予選 Q1 を担当したのは河野選手で、第 3 戦の鈴鹿サーキットラウンド以来の予選アタックとなった。河野選手は、インラップと計測 1 周目、2 周目でウォームアップを終わらせると、計測 3 周目からアタックに入る。セクター 2 でややタイムロスがあったが 1 分 38 秒 148 をマークする。だが、このタイムだと予選 Q2 への進出は難しく、翌周もアタックを続ける。計測 4 周目はセクター 2 で前のラップより 0.4 秒アップさせたが、最終セクターが伸びず 1 分 38 秒 072 とわずかなタイムアップに留まる。計測 5 周目もアタックを行なったが 1 分 38 秒 081 でタイム更新はならず。結果として B 組の 12 番手で、予選 Q2 への進出を逃した。



明日の決勝レースは 24 番手からのスタートと厳しい状況だが、チェッカーを受けるまでチームが一体となり少しでの上位のポジションを目指していく。

Team Comment



Director : 飯田 章

公式練習では吉本選手、河野選手ともに想定したメニューを消化したのですが、持ち込んでいるタイヤとセットアップが合っていない状況でした。予選 Q1 に向けて改善してはいるのですが、それでも予選 Q2 へ残るスピードがありませんでした。決勝レースへ向けては、今日のデータを見返してセットアップを合わせていくことが最優先です。悪い方向へいくことはないと思っているので、少しでも順位を上げていきたいです。



Driver : 吉本 大樹

開幕から 4 戦は夏の気候での戦いでしたが、少し気温が下がってきたため期待を持って挑みました。しかし、公式練習では使用するタイヤにセットアップが合わず、思ったようなグリップ感が得られず苦労しました。予選までに路面コンディションに合わせたセットアップを探り、多少の改善はみられました。それでもトップ 10 のマシンとは差があり厳しいのですが、決勝レースでは戦略やチーム力で挽回していきます。



Driver : 河野 駿佑

公式練習は後半に乗ったのですが、吉本選手のとおり同じ状況でグリップ感が乏しいのが印象的でした。予選に向けては大幅にセットアップを変更したことで、マシンのバランスが向上しました。予選 Q1 を担当させてもらったのですが、大事なアタック周でタイムが伸ばせず悔しい結果となりました。ミスなく走っても予選 Q1 を突破できるかギリギリでしたが、まとめきれなかったです。予選のバランスだと明日は期待が持てるので、追い上げたいです。

